

# 八女学院 広川幼稚園

## 1、教育理念

「役に立つ人物になれ」

幼児ひとりひとりが将来自立して大人になり人間としてどんな時も生き抜いていくための基礎教育を行います

## 2、教育目標

- ・挨拶できる元気な子ども
- ・心身ともに健康でたくましく素直な子ども
- ・自分で考え、行動できる子ども
- ・自分を大切にし、友達も大切にできる子ども

## 3、教育方針

- ・幼児期にふさわしい様々な体験や活動を通して人として生きる豊かな心を健やかな体を育てます
- ・子どもの自発性・主体性を重んじできるだけ自分でできるように見守っていきます
- ・自立・自尊を育める環境を作り、子どものひとりひとりの人格を尊重し、その子の思いや行動を大切に、援助していきます

## 4、各学年重点目標

- ・友達と教師と一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむ（満3歳児）
- ・友達と一緒に活動する楽しさを知り、自分の思いを言葉や態度で表現する（年少）
- ・友達と関わり、遊びや活動を展開する楽しさや喜びを味わい、充実感を味わう（年中）
- ・人や物と関わる中で様々な感情を体験し、色々な活動において積み重ねることで、身につける（年長）



## 学校評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況	評価		
・園の教育理念を理解しているか また、達成するための保育が できているか。	教育理念を理解し、達成できる為努力がなされ、十分な保育が できている。	A	B	C
		11	1	
		A		
・子どもが伸び伸びと行動し、 充実感が味わえるように工夫し ているか。	サークルタイム等で子ども達の意見や友だち同士で考えを出し合 う機会を取り入れることができた。また、子ども達のやりたい遊 びを重点的に行うことができた。	A	B	C
		12		
		A		
・子どもが進んで戸外遊びでの活動を楽しみ様々 な遊びの中で十分に身体を動かすことができるよ うに配慮や工夫がされているか	配慮や工夫を行うことができ、朝、午後共に自由遊びの時間を確 保することができた。	A	B	C
		12		
		A		
・健康な生活に対して必要な習慣や 態度を身につけていけるよう工夫し ているか。	定期的な声掛けを行い、必要な手洗いや消毒を習慣化することが できている。また、必要に応じてマスク着用をするなど、日常的 に行うことができた。	A	B	C
		12		
		A		
・子どもが自分で行動することの充 実感が味わえるよう援助を行って いるか。	子ども達同士のトラブルや子ども自身が困った時等保育者が間に立ちな がら、声かけや助言をすることで結果的にそのアドバイスを通して自分 の考え行動することを促すことができている。	A	B	C
		12		
		A		
・相手の思いや気持ちに気付いてい けるような援助や機会を設けている か。	トラブル等の題材、クラスでの問題をサークルタイムを通して一 緒に考えることで相手の気持ちに気づき行動することを促すこと ができている。	A	B	C
		12		
		A		
・異年齢とのに関わり中で、愛情や 信頼感を持てるよう工夫している か。	縦割り保育を通してゲーム等を異年齢一人ずつのグループに分けたり、 学年の動きを見たり、上の学年の子が下の学年を思いやれるよう声か け、時には遊びの中に入りながら関わりを保つことができている。	A	B	C
		11	1	
		A		
・環境に親しみ、様々な事象に関心 が持てるよう工夫されているか。	園内の子ども達が遊び込めるような環境作りや園行事や園外活動 の取り組みが充実している。	A	B	C
		9	3	
		A		
・遊びや生活の中で数量や文字、図 形などに関心を持つ工夫がされて いるか。	考えるノート、積木、パズルの取り組みやクラス活動での数遊び やお正月遊びなど保育者の環境作りが評価の繋がっている。	A	B	C
		9	3	
		A		
・子どもが自発的に活動したり遊 べる環境が整備されているか。	コーナー遊びが設置され、自発的な活動に繋がっている。また、 子ども達の工夫された考えやアイデアが見られた。	A	B	C
		12		
		A		
・子どもの遊びを通し、更に活動が 発展するヒントとなる配慮や工夫が されているか。	子どもたちの遊びを見ながら保育者がヒントとなる声掛けを行い 促す必要がある。子どもが主体となるようサークルタイム等で子 ども同士話し合う場（機会）を設ける。	A	B	C
		10	2	
		A		
・子どもが自分の気持ちを自分なり に表現した時、それを受け止めて いるか。	自分なりに伝え方を考え、表現したことは否定せず、耳を傾け関 わっている。また、サークルタイムを通して自分の思いを伝える 姿が見られた。	A	B	C
		12		
		A		
・子ども達自身が友達同士で話し合 えるように工夫されているか。	トラブル等になった時や自分の考えを提案したい場合など、自分 の気持ちを相手に伝えることを促す。サークルタイムにおいては 子ども主体で進められるよう工夫している。	A	B	C
		11	1	
		A		
・生活や遊びの中からできた言葉や アイデアが保育に生かされて いたか。	サークルタイム等で話し合いをする中、コミュニケーションなど 育まれている。その中でできた言葉やアイデアをコーナー遊びに 取り入れている。	A	B	C
		11	1	
		A		

・子ども自身が挨拶の意味を知り、進んで言えているか。	アーケードではできるが、来園者に対しては保育者の促しがないとできていない。名前を呼ばれた時の返事はできているが、子ども達が進んでできる挨拶が課題である。	A	B	C
		5	7	
		B		
・絵本や紙芝居等の時間や内容を考慮し、工夫して積極的に取り入れているか。	毎日の絵本や紙芝居の読み聞かせが充実している。また、年長児の読み聞かせを取り入れ、工夫して行っている。今後も継続して行う。	A	B	C
		10	2	
		A		
・子どもの表現しようとする意欲を受け止め、また子どもが様々な表現を楽しむことができるように配慮しているか。	童謡やリズムに合わせ、子ども達が自由に表現する機会がある。劇やお遊戯においても、子ども達の意見を取れ入れた、自由に表現を楽しんでいる。	A	B	C
		12		
		A		
・活動において様々な感触に触れ、気付いたり楽しんだりできるよう工夫されているか。	スライムやボディペインティングなどで感触に触れ、友だちと楽しさを共有する。	A	B	C
		11	1	
		A		
・子どもが自由に音や動きで表現する機会が設けられているか。	朝の体操やリズム遊び・楽器遊びを活動に取り入れ、音に合わせて楽しく表現できた。	A	B	C
		10	2	
		A		
・子ども達が日常的に歌を唄う機会が設けられているか。	朝の会におい季節の歌を歌ったり、学年の歌を取り入れたりと歌を楽しむ時間を継続している。	A	B	C
		12		
		A		
・身体を使った様々な表現遊びが取り入れられているか。	リズム遊びや劇ごっこ等身体を使った表現遊びを取り入れている。また、曲に合わせて動物になりきり、想像力を膨らませ、表現する力を身につけている。	A	B	C
		12		
		A		
・子どもの作品で個性が活かされる部分が取り入れられているか。	年齢が低くなるほど、保育者が準備し同じ作品が出来、個性を出すのが難しいことが課題である。上の学年においては子どもが想像したものが作品となり、個性をありのまま表現できている。	A	B	C
		11	1	
		A		
・研修会に参加し保育者としての資質の向上を目指しているか。	休日の研修が多く、自らの研修に参加する事が少ない。	A	B	C
		6	3	3
		A		
・専門的な知識を得て、保育技術を高めるための努力をし、習得したことを実際に保育に生かしているか。	安田式の研修等で習得した事を実践できている。	A	B	C
		9	2	1
		A		
・子どもの様子や育ち・保育などを保護者に分かりやすく伝えるよう工夫しているか。	クラスだより、インスタグラムを通して子どもの姿を発信することができた。今後も継続していく必要がある。	A	B	C
		10	2	
		A		
・保護者の質問や意見を聞き情報交換をすることにより、幼稚園と家庭が子どもの望ましい発達を促すための生活について考えていけるような連携が取れているか。	保護者の方と送迎時に直接話したり、連絡帳を通して情報交換を行うことが出来た。	A	B	C
		8	4	
		A		
・小学校と連携を取り、就学前に関する問題などを家庭へ情報提供できているか。	小学校との連絡会で情報交換を行い、必要な情報を提供するよう心掛けている。	A	B	C
		7	2	
		A		
・室内や園庭の安全に関して、定期的に点検・改善を行っているか。	点検用紙を使い確認することで必要な場所を見て安全確認ができた。園庭においても落ちているものや破損している物はその都度処分・修理することで改善しながら安全を保つことができた。	A	B	C
		12		
		A		
・緊急事態に対して敏速に対応できているか。	避難訓練の予告なし訓練を行う中で、その場の状況を見て行動する機会が設けられた。	A	B	C
		10	2	
		A		

・薬品の取り扱いに十分配慮しているか。	すぐに対応できるよう園に常備する緊急用の薬品や器具は揃っている。また、薬品等の確認や交換も心掛けている。	A	B	C
		11	1	
		A		
・園庭は常に整備されていて、室内は清掃・消毒が行き届き、清潔であるか。	週1回消毒液を作り、各部屋に常備し机や床を消毒し清潔を保っている。モップ、掃除機かけを心かけている。園庭のおもちゃ箱等の確認は常に行うことが課題である。	A	B	C
		10	1	1
		A		
・保育室は整理整頓が行き届き、安全に配慮した環境にしているか。	常に物を片付け、子どもたちが触れて危ない物は処分し整理整頓ができています。おもちゃ等は片付け場所を決めることで、子どもたちが率先して片付けができています。掲示物もテープ等で行うため、怪我に繋がる可能性を低くしており、安全な配慮を心掛けている。	A	B	C
		9	1	1
		A		
・出席簿は毎日記入し、子どもの欠席状況などをしっかりと把握して、欠席児への配慮をおこなっている	子どもの出席の確認が取れない場合は保護者に連絡を行い把握する。また、出席簿は毎日欠かさず記入し、体調面を把握している。	A	B	C
		12		
		A		
・個々の子どもの心身の状況を把握したり、配慮しながら保育をしているか。	子どもの気持ちに寄り添い、話を聞いた上で解決策を一緒に考える。	A	B	C
		12		
		A		
・園からの配布物（手紙など）は決められた期日に配布しているか。	決められた期日までに配布するよう心掛けている。	A	B	
		12		
		A		

